

JSA 神奈川支部通信

No. 3 March 2026 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP : <https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail : [jsa.kanagawa\(at\)gmail.com](mailto:jsa.kanagawa(at)gmail.com)

年会費 10,800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょう銀行振替口座 00280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ JSA 創立 60 周年記念事業のお知らせ 日本科学者会議全国事務局
- ◆ 平和で明るい神奈川県政をつくる会総会・県予算案学習会の案内 明るい会事務局長 山田浩文
- ◆ 安保法制違憲かながわ訴訟原告団総会の報告 後藤仁敏
- ◆ 市民のための横浜市政を進める会が「中期計画 2026-2029」の学習会を開催 後藤仁敏
- ◆ 「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどいの報告 後藤仁敏
- ◆ 雑誌の紹介：「日本の科学者 2026 年 1 月号（日本科学者会議編）」 後藤仁敏

JSA 創立 60 周年記念事業のお知らせ

日本科学者会議全国事務局

JSA60 周年記念シンポジウム

日時：2026 年 2 月 22 日（日）13:30～17:00

場所：中央大学茗荷谷キャンパス B1C16 教室 東京都文京区大塚 1-4-1（丸ノ内線茗荷谷駅徒歩 1 分）

開場 13 時、シンポジウム開催 13 時 30 分～

シンポジウム テーマ「避戦と人間の安全保障—戦争を回避するための方策を問う」

基調講演：1. 山極寿一（総合地球環境学研究所長、前京都大学総長）「暴力の由来とその解決策について」、2. 加藤陽子（東京大学教授）「近代日本の歩みの中に戦争を位置づける」、3. 志田陽子（武蔵野美術大学教授）「『安全保障』の氾濫と人間の生存保障—日本の地経学的課題と平和的生存」

パネルディスカッション（フロアからの質問や意見をいただき内容を深めます）

参加費：無料 参加申し込み：対面でご参加の方は申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。オンラインでご参加の方、2 月 15 日以降の申し込みは電話（03-5615-9032）でお願いします。

JSA60 周年記念祝賀会 2026 年 2 月 22 日（日）18:00～20:00

会場：茗溪会館 4 階新泉・筑波（東京メトロ丸の内線茗荷谷駅出口 2 徒歩 1 分）

60周年
未来世代になにをつないでいくのか

日本科学者会議
創立60周年記念シンポジウム
(ハイブリッド開催)

テーマ：避戦と人間の安全保障
—戦争を回避するための方策を問う—

日時：2026年2月22日（日）13:30-17:00
場所：中央大学茗荷谷キャンパス B1C16教室
(東京メトロ茗荷谷駅 [出口2] 徒歩1分)

講師と講演タイトル：
山極寿一
「暴力の由来とその解決策について」
加藤陽子
「近代日本の歩みの中に戦争を位置づける」
志田陽子
「『安全保障』の氾濫と人間の生存保障
—日本の地経学的課題と平和的生存」

参加費：無料

申し込み方法
対面参加の場合、事前申し込みは必要ありません。
直接会場にお越しください。
オンライン参加の場合、事前申し込み制
(2月20日までにお申し込みください)

申し込みフォーム：
<https://forms.gle/bR6VtbehMj6bJsqP8>

Peace
Diversity
the Earth

日本科学者会議 <https://jsa.gr.jp/>
JSAへの入会や「日本の科学者」定期購読の申し込みは、お近くの会員ホームページ <https://jsa.gr.jp/> もご覧ください。

参加費：1万円 定員：70名

JSA 創立 60 周年を記念して、記念シンポジウム終了後にささやかならが祝賀会を開催します。会場の都合上、定員 70 名とさせていただきます。2 月 15 日以降の参加申込みは電話（03-5615-9032）でお願いします。先着順とさせていただきます。

記念 USB メモリ：JSA 創立 60 周年を記念して、創立号から 2026 年 2 月号までの『日本の科学者』の PDF データを収録した記念 USB メモリ（カード型、USBType-A および Type-C 規格対応）を作成します。事前申し込みを受け付け中です。2026 年 2 月 22 日のシンポジウムの日に完成予定です。

申込み締め切り：2026 年 2 月 21 日（数量限定のため、売り切れの場合はご容赦ください）

価格（JSA 会員価格）：4000 円プラス送料 申込みは以下の Google フォームから、もしくはメール（mail@jsa.gr.jp 宛）でご連絡ください。https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc_5k9cFPWU_cSekGtBjEMP_P5RG_RYPzkQkcjW0xdRNr4HdQ/formResponse

その他の記念事業（企画中のものを含む）：記念ポスターの作成（前頁）、事務所保管中のこれまでのさまざまな資料を PDF にして会員に公開。

各支部でも 60 周年事業を！：支部の催しにも「JSA60 周年記念」を冠して、JSA の歴史の一步としましょう。支部主催のイベントには「日本科学者会議 60 周年記念」の冠をかぶせましょう。イベントの開催・実施報告を、ぜひ事務局にお寄せください。**支部の歴史を振り返る機会に** 支部事務局に歴史的資料が残っていませんか。創立時の資料などがあれば、ぜひ全国事務局にお知らせください。ウェブサイトの記念コーナーに掲載させていただきます。

寄付のお願い：JSA60 周年記念行事シンポジウム・祝賀会開催、およびその他の記念行事実施のための寄付金を募ります。余剰が出た場合は JSA に寄付します。下記の方法により寄付をお願いします。

- 1) クレジットカード・Apple Pay・Google Pay 払い（リンク）
- 2) クレジットカード・Apple Pay・Google Pay 払い（右の QR コード）
- 3) ゆうちょ振替口座で入金 00180-8-86906 加入者名：日本科学者会議 通信欄に「JSA60」と書いてくださるとありがたいです。



緊急連絡先：竹内智(080-6644-1912)、笹倉万里子(090-9124-9935)

平和で明るい神奈川県政をつくる会総会と 26 年度県予算案学習会の案内

明るい県政をつくる会事務局長 山田浩文

ご奮闘に敬意を表します。大義のない解散総選挙が行われ、結果によっては、県政・県議会への影響も考えられます。

こうしたなか、1 年 3 か月後の県知事選挙にむけたとりくみを本格化させていきたいと考えています。その方針などを議論し決定していただきたく、JSA 神奈川支部も構成団体である「平和で明るい神奈川県政をつくる会」の総会を下記の日時・会場で開催します。ご参加をよろしくお願いします。

また、当日は総会後に 26 年度県予算案の学習会も行う予定ですので、そちらへの参加もあわせて願います。

平和で明るい県政をつくる会総会

日時：2026 年 2 月 24 日（火）17:00～18:00

会場：神商連会館 4F（JR 東神奈川駅西口徒歩 5 分）

要請：「明るい会」加盟組織の代表者・担当者、個人会員
内容：26年度の運動方針、決算・予算、役員選出団体、など

2026年度の県予算案学習会

2月上旬に、来年度の神奈川県予算案が発表される予定です。その特徴や、私たちの要求との関係で前進したこと、県民生活や地域経済の改善にむけての問題点、など予算案の概要を知り、今後の運動に役立てる学習会を開催します。どなたでも参加できます。

日時：2026年2月24日（火）18:30～20:00

会場：神商連会館 4F「平和で明るい神奈川県政をつくる会」

講師：神田敏史さん（県民連絡会事務局長）



総会も学習会もオンライン（ZOOM）を併用します。

ミーティング ID：846 7805 5032 パスコード：135413

主催：平和で明るい神奈川県政をつくる会

連絡先 TEL：045-212-5855、E-mail：yamada(at)kanagawa-rouren.jp（神奈川労連、担当：山田）

安保法制違憲かながわ訴訟原告団総会の報告

後藤仁敏

1月13日、安保法制違憲かながわ訴訟の今後について考えるための原告団総会が、横浜市開港記念会館1号室で開催されました。

はじめに弁護団の関守麻紀子さんが、昨年6月12日に最高裁から上告棄却・上告不受理の決定が届いたことを報告し、今日の集会では、全国の裁判の状況をふまえ、かながわ訴訟の成果と今後の課題について報告し、皆さんのご意見をいただきたいと挨拶しました。

岡田尚弁護士は、次のように報告しました。「安保法制違憲訴訟は、全国22の裁判所で、25の裁判が闘われたが、現在では東京高裁の『女の会』訴訟と、名古屋高裁の愛知訴訟を残すのみで、他の裁判はすべて終了している。『女の会』訴訟は原告も弁護団もすべて女性で、昨年11月に青井未帆学習院大学教授と当事者2名の尋問があり、3月9日に弁論が予定されている。愛知訴訟は、2月4日に山田朗明治大学教授の弁論が予定されている。

明確な違憲判決はないが、合憲判決もない。全国ネットは昨年11月に「高市政権発足にあたり、改めて安保法制との闘いを訴えます」との声明を出した。

今後は、総括をどうするか、新しい裁判を提起するか、全国ネットをどうするか等の課題がある。新しい裁判としては、安保3文書を対象にしたものと各地域での課題が考えられる。東京と神奈川で問題提



図1 弁護団、左から岡田、福田、石黒康仁、関守弁護士



図2 報告する福田護弁護士

起することが求められている」。

次に、福田護弁護士が、以下のように報告しました。「この裁判は安保法制の違憲性・問題性を継続的に追求し、多くの学者、内閣法制局元長官をはじめとする法律関係者、ジャーナリスト、市民が参加し、運動の結集軸として大きな役割を果たした。かながわ訴訟の記録をまとめ冊子を作成したい。

今後に向けて、高市自民維新連立政権のもと、安保3文書の改定など、さまざまな憲法課題がある。これらに取り組み、戦争国家化を止めたい」。

その後、参加者からこの運動を続けてほしいとの意見が多く出され、それを受けて、弁護団から、「日本は平和国家で留まるのか、軍事国家になってしまうのか、瀬戸際に立っている。今後も、憲法の平和主義を守る運動をいっしょにやって行きたい」との決意が表明され、閉会となりました。

市民のための横浜市政を進める会が「中期計画 2026-2029」の学習会を開催

後藤仁敏

2026年1月15日、市民のための横浜市政を進める会が、昨年12月3日に横浜市が公表した新しい「中期計画 2026-2029 素案」についての学習会を横浜市健康福祉センターで開催し、会場いっぱいの43人もの市民が参加しました。

事務局長の政村修さん（図1）が「横浜市は新しい中期計画の素案を発表し、2月27日までに市民からの意見・提案を募集している。内容を学習し、多くの意見を寄せよう」と挨拶しました。世話人代表の岡田尚弁護士は「山中市長の4年間の実績を踏まえた新しい中期計画について、しっかり学ぼう」と呼びかけました。

総務局行政マネジメント課の田中雄英課長（図2）が、スライドを使用して中期計画について、以下のように解説しました。

前回の「中期計画 2022-2025」は基本戦略「子育てしたいまち」を掲げ、子育て世代の転入超過が増え、観光の消費額と入込客数が過去最高となり、企業誘致に伴う投下資本額が増加し、データ経営と歳出改革で645億円の財源を生み出した。

これを踏まえて、新しい「中期計画 2026-2029」では、「明日をひらく都市」を目標に、14の政策群と33の施策群、3つのプロジェクトから構成されている。これらを、市民の実感を評価の軸にするために、市民目線の経営サイクルと市民目線によるアップデートにより進めたい。

毎日の安心・安全では、LED防犯灯や小学校周辺の防犯カメラ付き防犯灯の設置を、こども・子育てでは、小児医療費助成の18歳までの拡充、子育て世代への住宅支援制度を、教育では中学校全員給食の開始、エアコン・エレベーターの設置、トイレの洋式化、市立高校での長期留学を進めたい。

暮らし・コミュニティでは図書館の充実を、交通では地域公共交通、敬老パスによる高齢者の外出支援、バス路線とバス運転手の確保を、環境との共生では2027年の国際園芸博を契機とした循環型社会に向けた取り組みを、みどりでは公園と動物園、都市農業を活用したみどりの保全と創出をめざしたい。

明日をひらく都市プロジェクトでは、循環型都市への移行、観光・経済活性化、未来を創るまちづくりを進めたい。



図1 挨拶する政村修事務局長



図2 解説する田中雄英課長

その後、参加者から次々と質問と意見が出され、田中課長が丁寧に回答しました。物価高への対策、住宅、介護はどうする。13万人の外国人との共生、危険なノースドックは早く返還してほしい。太陽光パネルの交換。市民の意見をどう汲み上げるのかについては、対象を1万人に増やして調査するとのことでした。

戦争の教訓を活かし、平和と人権をすべての施策の基本にしてほしい。横浜ブランドとはについては、横浜らしさのことで、世界に認知される複合的な価値を高めたいそうです。山下ふ頭の再開発では、市としてすることと、民間に託すことを公民連携で進めたいとのこと。子育てについては、遅れていた状態を並みにし、今後は子育て世代から全世代に拡充したい。パブコメへの応募は特に規定はないが、出来るだけ具体的に、データも付けてお願いしたい。防災での避難所については、まずは自宅で過ごすよう耐震化を進めてほしいとのことでした。

多くの市民が、中期計画についての意見や要望を送り、市民要求の実現をめざそうとの思いあふれる学習会となりました。

「建国記念の日」に反対する 2.11 神奈川県民のつどいの報告

後藤仁敏

2026年2月11日、「建国記念の日」に反対する神奈川県民のつどいが開催され、冷たい雨のふるなか、130人がかながわ県民センターホールに集まりました。集会は、伊藤明彦さんと大和田幸子さんの司会で進められました。

開会前に、テレビ番組から「戦前リアル」というDVDが上映され、高木 誠さんが解説しました。開会後はまず、実行委員の私が、基調報告しました。3日前の衆議院選挙の結果を踏まえて、以下のように報告しました。

基調報告

「建国記念の日」とはどういう日なのか、なぜそれに反対するのかについては、本日のプログラムにある私の基調報告をお読みいただきたいと思います。私はまず、3日前に実施された衆議院議員選挙についてお話しせざるをえません。

2月8日になぜ選挙が行われたのか、北国では大雪のなか交通がマヒするなか、18歳まで選挙権を与えたのに18歳は受験の真っ最中です。さらに、4年任期の衆議院議員を1年4カ月で首を切つての選挙、これは、許しがたい暴挙でした。憲法に反する解散権の乱用、解散から投票まで戦後最短の16日しかなく、有権者が争点や各党の政策の違いを考える時間すら与えずにやっつけてしまえ。少しでも支持率が高いうちに、ボロが出ないうちにやっつけてしまえ、まさに党利党略、高市氏個人の私利私欲のための選挙であったと思います。

今回の選挙、私が残念に思うのは、リベラルな護憲派であった立憲民主党が、幹部の独走によって公明党と合流し、「中道改革連合」という政党をつくったことです。あらためて立憲民主党と中道の綱領・政策を比べてみて、私は愕然としました。原発ゼロ、再稼働は容認しないとしてきたのに、「再稼働を容認」になっています。「防衛力の整備」、「抑止力・対処力の強化」とあり、大軍拡を容認しています。安保法制は違憲としてきたのに、「平和安全法制（戦争法）が定める存立危機事態における自衛権行使は合憲」としています。これでは高市首相と同じです。さらには「自衛隊の憲法上の位置付けなどの憲法改正」ともありました。これは自民党の4項目改憲案の柱と同じです。

これでは政策的には、立憲民主党が消えて、公明党に飲み込まれたというよりありません。事実、中道は全体としては167から49に118減りましたが、旧公明は21から28に7議席増えています。これ

は各ブロックの比例候補の上位を旧公明が占めたからです。一方、旧立民は146から21に125議席も、何と85%も減っているのです。立憲民主党が衆議院から消えてしまったのです。「大きな塊を作る」と言っていたのが、小さなかげらになってしまいました。他の立憲野党も、共産党は8から4に減り、れいわも8から1に減り、社民党は議席を得られませんでした。護憲派は465議席のうち、5議席しかとれませんでした。オール沖縄で4議席確保してきた沖縄でも、4議席すべてを自民党が占めてしまいました。市民と野党の共同をどう再構築するのか、大きな課題が残されました。一方、自民党は198から316に、なんと118議席も増やし、単独で衆議院の3分の2以上を占めました。維新と合わせて352議席、衆議院の77%に達しました。参議院で否決した法案も衆議院で3分の2以上なら可決させることもできるようになりました。前回の衆議院選挙で3分の2以下に押し込んだ改憲派が、いつでも改憲発議が可能な議席を占めてしまいました。しかし、自民党は比例票では投票した有権者の36.7%しかとっていません。わずか37%以下の票で、3分の2以上、68%もの議席を占めることができるのは、小選挙区制度という民意を反映しない制度によるものです。

今日、講演をお願いした額額厚さんをご高著『戦争と弾圧—3・15事件と特高課長額額彌三の軌跡』(図1)のなかで、「建国記念の日」の制定は日本が戦前のような軍事国家になることをめざし、精神・思想を支配するための、いわば新たな戦前の始まりだと書かれています。その制定に奔走したが戦前、特高課長として3・15、4・16事件を指揮した額額彌三衆議院議員だったのです。なお、額額彌三と額額厚、どういう関係かとお聞きしたら、同郷の同姓とのことで、直接の親族ではないとのことでした。

今日は、額額厚さんによる、戦前は特高課長として共産党の弾圧を指揮し、戦後は衆議院議員として紀元節の復活、「建国記念の日」の制定に奔走した額額彌三についてのお話を聞き、あらためてこの日に反対する意義を学びたいと思います。そして新しい戦前を防ぐにはどうしたらよいか、平和をまもるには、平和憲法をまもるにはどうしたらよいか、みんなで一緒に考えましょう。

額額 厚さんの講演

ついで、山口大学名誉教授の額額 厚さんが「精神・思想の支配を意図する「建国記念の日」～その制定に奔走した額額彌三の軌跡」と題して、次のように講演しました(図2,3)。

山口大学に長く勤務したので、岩国基地についてはよく知っている。蓮根の産地を1930年代に帝国海軍が基地にし、戦後、米軍が接取し、強化している。岩国を見ても日本はいまだに米軍に支配されていると言える。韓国は多くの米軍基地を取り戻しており、民主主義の先進国だ。日本は高市政権を見てもどこまでも米国に付き従う半独立国だ。

戦前期の歴史をたどると、1874年の台湾侵攻以来、監視弾圧法規の制定による国家総動員体制の強化、言論空間の権力による支配により戦争国家日本がつけられてきたことがわかる。1925年の治安維持法の制定は、普通選挙法の施行で民衆の政治参加による反国体思想拡散の抑止策であった。1927年から28年の山東出兵、済南攻略の後、28年の最初の総選挙で、無産政党から8名の当選者が出たことに対して、三・一五、四・二六事件で共産党が弾圧され、治安維持法の改定に反対した山本宣治代議士は刺殺された。1931年には満州事変、日中15年戦争の開始とともに、小林多喜二は警視庁築地署で虐殺された。

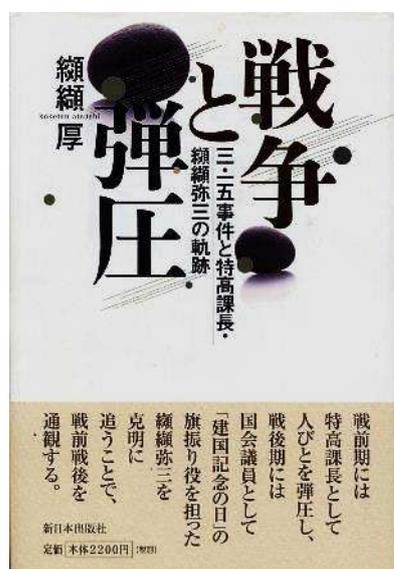


図1 額額厚著『戦争と弾圧』表紙



図2 講演する額額 厚さん

治安維持法による予防拘禁制度の新設を経て、1941年には対英米戦争が開始された。

瀨瀨彌三は1927年5月に警視庁警視總監・官房特別高等警察（特高）課長に就任し、3・15、4・26事件を直接指揮した。戦後、公職追放されるが、それは特高課長時代が対象ではなく、文部官僚に転出して以後の職歴が対象であった。GHQは無産政당을弾圧した警察官僚をまったく不問に付し、それによって警察官僚が生き残り、戦後権力者になったのだ。彌三も1951年追放解除となり、1955年2月には衆議院議員に当選している。戦前の警察官僚から国会議員になった者は54名に達する。

1957年の国会で、日本社会党の受田新吉氏が、紀元節の復活は戦前の天皇中心主義の思想の復活になるとの質問に対して、瀨瀨議員は「日本の正史である日本書紀に書かれた神武天皇の即位日」と信じて2月11日を「建国記念の日」の制定を主張した記録がある。

日本は今、対米従属のもと、戦争する国に向かっている。「台湾有事」を煽っているが、台湾の国民は現状維持を望んでいる。命の安全保障が大切で、抑止力の強化は何の役にも立たない。失った命は帰ってこない。非武装抵抗こそ、国民の命を守り、主権を取り戻す道だ。弾圧立法が重層的に準備され、これに抗する人びとを弾圧・排除していった歴史をあらためて学ぶとき、戦争する国でなく、民主主義と平和主義を日本国憲法を規範にして構築することに全力を挙げる時だ。

3つのフロア発言

休憩の後、用意された3つのフロア発言がありました。はじめに、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟神奈川県本部の小澤睦夫会長（図4）が、次のように報告しました。「治安維持法施行100年の昨年、47都道府県で記念集会在開催され、延べ8000人が参加した。今、現代版治安維持法といわれる「スパイ防止法」が自民、参政、維新、国民などの政党によって進められています。皆さんと一緒に反対運動を進めましょう。

ついで、在日外国人教育生活相談センター・信愛塾の王遠偉さんに代わって日本キリスト教会横浜桐畑教会靖国神社問題委員の伊藤明彦さんが、2月22日に開催される「差別・排外主義を許さないネットワーク横浜」の結成集会について紹介し、多くの皆さんの参加を呼びかけました。

最後に、神奈川県平和委員会の菊谷節夫理事長（図5）が「神奈川の基地強化と闘いについて」次の様に報告しました。県内の基地ではキャンプ座間では日米共同戦争司令部が、厚木基地ではオスプレイの訓練拠点化が、横浜ノースドックでは米軍揚陸艇部隊の配備が、原子力空母の母港である横須賀では海上自衛隊基地へのトマホーク配備が進められている。戦争は絶対ダメ、再び戦場にするなの国民的共同を上げよう。

その後、再び瀨瀨さんが登場し、会場からの質問に対し以下のように回答しました。台湾はアメリカが中国を牽制する牽制球のだ。台湾は日本の生命線として存立危機事態をの発言に、台湾の人々は、私たちが戦前の沖縄にしないでと怒っている。アメリカは中国に攻め込むことはしないで、常に緊張状態をつくり、日本に武器を買わせて軍事産業を儲けさせている。

安全保障は軍事だけでなく、国民の命を守ることが重要だ。命は武器では守れない。護憲共闘を進め



図3 講演する瀨瀨 厚さん



図4 報告する小澤睦夫さん



図5 報告する菊谷節夫さん

よう。若者には高市首相への期待感があるが、永遠に続くものではない。憲法の本質にもとづき、平和と人権を追求しよう。

最後に、司会の伊藤明彦さん（図 6）が「2.11 神奈川県民のつどい」に参加した私たちは、私たちこそ主権者であることを改めて自覚し、これからも発言し行動することを表明します」との集会アピールが読みあげられ、大きな拍手で採択されました。

なお、JSA 神奈川支部からは山根徹也会員が参加されました。カンパも 1.3 万円以上集まりました。衆院選での自民党圧勝の直後、参加者それぞれの思いが溢れる集会になったように感じました。



図 6 アピールを提案する伊藤さん

雑誌の紹介：「日本の科学者 2026 年 1 月号」（日本科学者会議編）

後藤仁敏

以下は、地学団体研究会の機関誌「そくほう」2月号に掲載された「日本の科学者」2026年1月号の紹介です。

日本科学者会議（以下 JSA）は、1965 年 12 月に創立され、このほど 60 周年を迎えた。本号は 60 周年記念号で、「日本科学者会議 60 年の今までとこれから」を特集している。

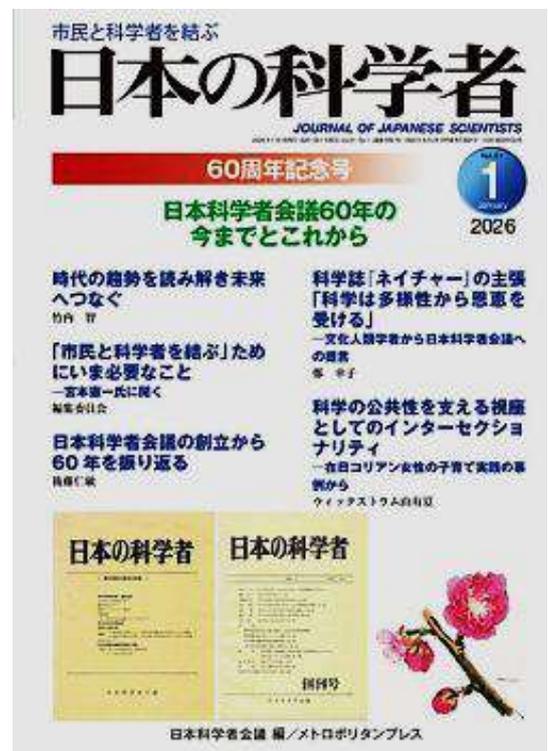
JSA 事務局長で、『日本の科学者』（以下 JJS）編集委員長の竹内智氏は「時代の趨勢を読み解き未来へつなぐ」として、社会が激変し、時代の転換期である今日においても JSA 創立時の設立理念、人類の福祉と平和のために科学の自主的・総合的発展をめざし、科学者の社会的責任を果たすことは、未来世代につなぐメッセージだと述べている。

「『市民と科学者を結ぶ』ためにいま必要なこと—宮本憲一氏に聞く」は、編集委員会による宮本氏へのインタビューである。公害反対運動の展開過程、革新自治体の誕生から衰退の経緯を宮本氏の経験をもとに振り返り、市民運動と科学者の関わりについて述べている。日本社会の右傾化が進むなか、市民と科学者の連携の経験に学ぶことは多い。

後藤が書いた「日本科学者会議の創立から 60 年を振り返る」では、10 年で崩壊した民主主義科学者協会（民科）の反省と教訓により、JSA は 60 年間持続できたこと、民科は崩壊してもその一部会であった地団研は 78 年間活発な活動をしてきたこと、JSA の 60 年の運動の成果と今後の課題について述べた。

鄭幸子氏は「科学誌『ネイチャー』の主張『科学は多様性から恩恵を受ける』—文化人類学者から日本科学者会議への提言」として、JSA でも女性や少数派や若手が活躍できるよう DEIA（多様性、公平性、包括性、参加しやすさ）を軸に組織を改善すべきと提唱している。ウィックストラム由有夏氏も「科学の公共性を支える視座としてのインターセクショナルリティ—在日コリアン女性の子育て実践の事例から」として、在日コリアン女性の子育てを手がかりに、科学の公共性を支える批判的枠組みとしてインターセクショナルリティ（交差性）を位置づけることを提起している。

「ひろば：若手に聞く—これからの 10 年を展望する」（聞き手：近藤真理子）では、若手の JSA 会員 4 名の座談会として、JSA への入会の動機、入会して良かったこと、JSA と JJS について期待することな



どについて話し合っている。巻末には、創立宣言などの資料も掲載されている。

地団研の活動を進める上でもJSAとJJSに学ぶことは大きいと思われる。多くの会員にお勧めしたい。
〔日本の科学者 2026年1月号〕(日本科学者会議編 メトロポリタンプレス、800円(税込)、B5判、64頁、2026年1月1日発行、ISSN 0029-0335)

行事案内

- ☆2月20日(金) 18:30～ **第15回鶴見平和フェスティバル・ミニ憲法講座1・トランプ暴走と日本国憲法**
会場：鶴見公会堂第1・2会議室(JR鶴見駅西口直結、西友鶴見店6F) 参加費500円・学生無料 講師：
緒方蘭弁護士(東京合同法律事務所) 呼びかけ人：後藤仁敏(鶴見大学名誉教授)、前川雄司(弁護士)、
宮澤由美(汐田総合病院院長)、野末浩之(横浜勤労福祉協会理事長) 主催：第15回鶴見平和フェステ
ィバル実行委員会 連絡先：よこはま健康友の会事務局(045-947-3260)、鶴見区革新懇事務局(080-3727-
5352)
- ☆2月20日(金) 18:30～20:30 **オンライン学習会 ロシアのウクライナ侵略から4年 国連憲章に基づく平
和な世界を実現するために 日本が進むべき道を考える** メイン報告：川田忠明さん(日本平和委員会常任
理事) 現地支援活動の報告：星野智さん(NGO「ウクライナに平和を生駒」代表) 質疑応答、各地の活
動交流 申込み方法：下記URLもしくは右記二次元コード申込フォームより申し込みください。ZOOMの入
室情報および当日の資料は、学習会当日までに申込みのメールアドレスに送ります。
<https://forms.gle/wW88rQ9rhrc6RtSE7> 主催：日本平和委員会
- ☆2月20日(金)18:30～ **「10月7日からのガザ」オンライン上映会** 申込み：要予約。下記のフォームか
らお申し込みください。 [https://pilot.jca.apc.org/nextcloud/index.php/apps/forms/s/
jxcXSqk6SEMxs22xR7L7pKk](https://pilot.jca.apc.org/nextcloud/index.php/apps/forms/s/jxcXSqk6SEMxs22xR7L7pKk) 参加費無料(カンパ歓迎) 予約された方には、上映会当日の18時ころに、オ
ンライン会議室のアクセス情報(アクセスURLとパスワード)をメールでお知らせします。トークイベント：
一人から今すぐにでもできる戦争犯罪企業のボイコット トークは映画終了後に開催(トークのみの参加
も可能です) 上映終了後の20時15分頃から下記のトークイベントを開催します。停戦後の最近のガザの
状況について。終了予定時間 21時半ころオンラインはZOOMではありません。動画の公式公開サイト(フ
ランス語字幕版) <https://www.lesmutins.org/gaza-apres-le-7-octobre> 映画試写会の主催：JCA-NET
<https://jca.apc.org/> 問合せ先：としまる(JCA-NET) toshi@jca.apc.org 070-5553-5495
- ☆2月20日(金)18:30受付開始～21:00 **市民がつくる山下ふ頭の未来・提案発表の集い** 横浜市健康福祉総
合センター4階ホール 市民提案の発表、専門家コメント：角野渉、菅孝能 連帯挨拶：北山恒(山下ふ頭
再開発検討委員会委員、横浜国大名誉教授) 連帯メッセージ：幸田雅治(同委員、神奈川大学法学部教授)
主催：「市民がつくる山下ふ頭の未来検討会」実行委員会 入場料無料(定員になり次第締め切り) 申込
み：shiminniyoru.shiminnotameno@gmail.com 090-8647-4942(担当：中村)
- ☆2月21日(土) 18:30～ **終わりにしよう天皇制！「天皇誕生日奉祝」反対2.21集会** 会場：文京シビッ
クセンター4階ホール(地下鉄後樂園・春日駅すぐ) 講演：鈴木裕子さん(女性史研究)「天皇制に抗う
ー現在の視点から金子文子の反天皇制思想を読み直す」 主催：実行委員会 問合せ：050-3630-8945
- ☆2月22日(日) 13:30～ **第66回中国映画を観る会 「草原の河」(ソントラルジャ監督)** 会場：戸塚区役
所3階多目的スペース(中) 資料代：一般500円 主催：日中友好協会横浜せ西南支部 問合せ：080-
2981-3935(大幡)
- ☆2月22日(日) 13:30～ **講演会「なぜ・戦争を止められないの？」** 会場：アミューあつぎ7階ミュージ
ックルーム1(小田急線本厚木駅徒歩5分) 参加費500円、学生以下無料 問合せ・申込み：080-1172-
1094(山本)、090-3912-6797(大友) 主催：CNピースあつぎ
- ☆2月22日(日) 13:30～17:00 **日本科学者会議(JSA) 創立60周年記念シンポジウム** テーマ：避戦と人
間の安全保障ー戦争を回避するための方策を問う 会場：中央大学茗荷谷キャンパス(丸ノ内線茗荷谷駅
徒歩1分)+ オンライン 参加費無料 基調講演：1. 山極寿一(総合地球環境学研究所長、前京都大学
総長)「暴力の由来とその解決策について」、2. 加藤陽子(東京大学教授)「近代日本の歩みの中に戦争を

位置づける」、3. 志田陽子（武蔵野美術大学教授『「安全保障」の氾濫と人間の生存保障—日本の地経学的課題と平和的生存』）パネルディスカッション（フロアからの質問や意見をいただき内容を深めます）参加費：無料 参加申し込み：対面でご参加の方は申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。オンラインでご参加の方、2月15日以降は電話（03-5615-9032）で申し込み願います。

☆2月22日（日）17:30～「差別・排外主義を許さないネットワーク横浜」結成集会 会場：かながわ労働プラザ多目的ホールB（JR石川町駅北口徒歩3分）参加費500円 記念講演：石橋学（神奈川新聞記者）「差別・排外主義に抗う ヘイトスピーチの現場から」経過報告、根本信一（部落解放同盟神奈川県連合会）、会の持ち方について：王遠偉（在日外国人教育生活相談センター・信愛塾）呼びかけ団体：落解放同盟神奈川県連合会、横浜市国籍条項撤廃連絡会、在日外国人教育生活相談センター・信愛塾、寿炊き出しの会、カラバオの会、寿支援者交流会、かながわ歴史教育を考える市民の会、寿日雇労働者組合、外国人住民基本法の制定を求める神奈川キリスト者連絡会、在日大韓基督教横浜教会、かながわみんとうれん

☆2月22日（日）18:00～20:00 JSA60周年記念祝賀会 会場：茗溪会館4階新泉・筑波（東京メトロ丸の内線茗荷谷駅出口2 徒歩1分）参加費1万円 定員：70名 参加申込みは12月半ば受付開始 JSA創立60周年を記念して、記念シンポジウム終了後にささやかならが祝賀会を開催します。会場の都合上、定員70名とさせていただきます。参加申込みは電話（03-5615-9032）でお願いします。先着順。

☆2月23日（月）10:00～16:00 第69回神奈川県母親大会・19回海老名母親大会 会場：海老名市文化会館（小田急線海老名駅徒歩10分）午前：分科会 映画上映「黒川の女たち」午後：全体会 記念講演アルティシア（作家）「自分らしく生きるために」資料代1000円、大学生・障害者500円、介助者・小中高生無料 映画協力券600円 主催：実行委員会 問合せ：045-641-8815

☆2月24日（火）17:00～18:00 平和で明るい神奈川県政をつくる会総会 内容：26年度の運動方針、決算・予算、役員選出団体、など18:30～20:00（予定）県予算案学習会 私たちの要求は前進したのか？ 県民の暮らしは良くなるのか？ 会場：神商連会館4F（JR・京急東神奈川駅徒歩6分）講師：神田敏史さん（県民連絡会事務局長）主催：平和で明るい神奈川県政をつくる会 連絡先045-212-5855（神奈川労連、担当：山田）【オンラインを併用します。下記に接続情報】ミーティングID：846 7805 5032 パスワード：135413 無料です。事前登録は不要

☆2月24日（火）18:30～講演会「高市政権とは何か、いかに立ち向かうか」会場：てくのかわさきホール（JR武蔵溝ノ口駅徒歩5分）資料代500円 講師：渡辺治（一橋大学名誉教授）主催：高津革新懇 問合せ：090-1458-3102（柴田さん）

☆2月25日（水）①10:30～12:30、②14:00～16:00 映画会「ちゃわんやのはなし」会場：港北公会堂（東横線大倉山駅徒歩7分）前売り大人700円（当日800円）、子ども、学生、障害者、付き添いの方は300円 チケット申込み・問合せ：090-4384-2938（田中さん）

☆2月26日（木）18:30～「新しい戦前にさせない」連続シンポジウム第18回 いま危ない政治に立ち向かう！ 会場：文京区民センター3A会議室（地下鉄春日駅すぐ）記念講演：中村敦夫（ジャーナリスト）「統一教会と闘って」、羽場久美子（青山学院大学名誉教授）「高市発言と国際的影響」シンポジウム：コーディネーター 佐高信（評論家）パネラー 中村敦夫、羽場久美子 資料代1000円 主催：共同テーブル 申込み：e43k12y(at)yahoo.co.jp 問合せ：090-8808-5000（藤田）

☆3月7日（土）13:00～開会 14:30～パレード フクシマ原発事故から15年 とめよう原発3.7全国集会 場所：代々木公園B地区 ケヤキ並木・野外ステージ（原宿・渋谷駅徒歩10分）主催：3.7脱原発全国集会実行委員会 問合せ：さよなら原発1000万人アクション実行委員会（03-5289-8224）

☆3月7日（土）集会13:30分、デモ出発1:15 「日の丸・君が代」の強制をはね返す！ 3.7神奈川集会とデモ お話：本山央子さん（アジア女性資料センター代表理事、お茶の水女子大学ジェンダー研究所特任リサーチフェロー）「強さ」への執着と「守られたい」欲望—高市政権の帝国主義— 会場：神奈川県地域労働文化会館2階AB会議室（横浜市営地下鉄阪東橋駅徒歩2分）資料代500円 共催：「日の丸・君が代」の法制化と強制に反対する神奈川の会、日本基督教団神奈川教区社会委員会ヤスクニ・天皇制問題小委員会 問合せ：090-3909-9657

- ☆3月8日(日) 13:00～ **第23回神奈川七沢多喜二祭** 会場：伊勢原市民文化会館小ホール(小田急線伊勢原駅西口③④バス東海大病院行他行政センター下車徒歩2分) 記念講演：浅尾大輔(小説家)「小林多喜二『一九二八年三月十五日』から『東具知安行』へ「何代がかりの運動」とは何か」朗読とアコーディオン「タキジコロサレタ アコーディオンVer」(アコーディオン：森陽介、朗読：小町さなえ、泉川まり) 共催：神奈川多喜二の会、治安維持法同盟神奈川本部 問合せ：090-6000-8877(蠣崎)
- ☆3月10日(火) 12:30～15:00 **「輝け!9条」新護憲市民の会・神奈川第31回総会** 会場：かながわ県民サポートセンター(JR横浜駅西口徒歩5分) 活動報告など総会議事、公開討論会「全国の反戦運動・反軍拡運動・反基地運動・平和運動の全国的結集のために!」 問合せ：090-7372-3092(松原)
- ☆3月10日(火) 14:00～ **第15回鶴見平和フェスティバル・ミニ憲法講座2・気候変動危機と日本国憲法** 会場：鶴見公会堂第1・2会議室(JR鶴見駅西口直結、西友鶴見店6F) 参加費500円・学生無料 講師：山本大貴さん(気候アクティビスト、record1.5代表) 呼びかけ人：後藤仁敏(鶴見大学名誉教授)、前川雄司(弁護士)、宮澤由美(汐田総合病院院長)、野末浩之(横浜勤労福祉協会理事長) 主催：第15回鶴見平和フェスティバル実行委員会 連絡先：よこはま健康友の会事務局(045-947-3260)、鶴見区革新懇事務局(080-3727-5352)
- ☆3月13日(金) 12:30～13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所：JR東神奈川駅東口デッキ 呼びかけ：横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会(045-231-0103)
- ☆3月14日(土) 13:30～16:15 **ふえみん婦人民主クラブ創立80周年のつどい「わたちの歩みとたたかいそして明日へ」**(会場+オンライン) 戦後初の大衆的な女性NGOとして誕生した「ふえみん婦人民主クラブ」は、2026年3月16日で創立80周年を迎えます。これを記念したつどいを東京で開催いたします。申込みいただいた方は、アーカイブ動画を御覧いただけます。会場：東京ウィメンズプラザホール(東京都渋谷区神宮前5-53-67) 内容：80周年記念映像「ハーストリー」上映 第1部 記念講演「ジェンダー平等と私たちの政治」 講師：能條桃子さん(「NO YOUTH NO JAPAN」代表理事、「FIFTYS PROJECT」代表) 第2部 パネルディスカッション「80年のたたかいとこれからをつなぐには?」 登壇者：宮越里子さん(デザイナー・フェミニスト)ほか 参加費1200円 学生・生活が困難な人600円 カンパ大歓迎! 申込み 予約優先。Peatixより。 <https://femin80shunen.peatix.com/> Peatixが使えない人はふえみん事務局へ。なお、会場参加でお申込されても、当日配信URLをお送りしますので、急な体調変化の場合でもオンラインでご試聴いただけます。主催：ふえみん婦人民主クラブ tel 03-3402-3244 メール femin@jca.apc.org
- ☆3月20日(金・祝) 13:50～16:45 **どうなる!?平和・いのち・くらし 渡辺治さんの講演と朗読劇のつどい** 朗読劇：YOUTHユニット「継ぐ声」「平和への祈り」、講演・渡辺治「戦争させないため、いま、私たちにできること」、質疑応答 参加費500円(学生無料) 会場：男女共同参画センター横浜フォーラム1階ホール(戸塚駅徒歩5分) 朗読劇：YOUTHユニット「継ぐ声」 主催：実行委員会 代表：泉山友子 TEL：090-9302-0048
- ☆3月21日(土) 13:00～16:00(予定) **2026 原発のない福島を! 県民集会** 会場：パルセいいざか(福島市飯坂市、飯坂線飯坂温泉駅徒歩8分) 賛同人・賛同団体募集中 個人賛同金1口1000円、団体賛同金1口5000円 振込先：郵便局の口座 口座記号：02280-1 口座番号：134397 加入者名：原発のない福島を! 県民大集会 主催：実行委員会 問合せ：03-5289-8224(原水禁) 被災地フィールドワーク 3月22日(日) 8:00～16:00(予定) 除染土の中間貯蔵施設等を視察予定
- ☆3月28日(土) 13:30～16:15 **東電福島第一原発事故から15年 歴史と今を考える集い** 会場：いわき市文化センター(予定) 資料代500円 パルセいいざか(福島市飯坂市、飯坂線飯坂温泉駅徒歩8分) 主催：実行委員会 問合せ：03-5289-8224(原水禁) 被災地フィールドワーク 3月22日(日) 8:00～16:00(予定) 除染土の中間貯蔵施設等を視察予定
- ☆3月28日(土) 14:00～16:15 **核兵器も戦争もない平和な世界 ピースボートの活動を通じて見えてきたもの** 講師：畠山澄子(ピースボート共同代表) 会場：鎌倉商工会議所地下ホール(鎌倉駅西口徒歩5分) 資料代1000円 20歳以下無料 主催：鎌倉・九条の会 申込み：mail kamakura9jo@gmail.com に氏名・電話・予約枚数を fax：0467-24-6577 に氏名・電話。fax 番号・予約枚数を 店頭：島森書店、たら

ば書房 問合せ：0467-24-6596（井上）

☆4月5日（日）14:00～16:00 **第101回草の根歯科勉強会 人口減と持続不可能になった資本主義** 講師：大西 広氏（慶応大学/京都大学名誉教授） 参加費無料（コーヒー代 500 円（希望者のみ） 会場：梨の木カフェ（水道橋駅東口徒歩 3 分） zoom 併用 要申込（会場は 10 名まで） 主催：草の根歯科研究会 申込み・問合せ：岡田弥生（yayoiokada(at)pcsu.mfnet.ne.jp）

☆4月10日（金）12:30～13:30 **横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備撤回を求める署名活動** 場所：JR 桜木町駅東口広場 呼びかけ：横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会（045-231-0103）

☆4月16日（木）18:30～20:30 **死刑と再審法を考える～袴田事件・福井事件から何を学ぶか** 講師：森卓爾（弁護士、神奈川県憲法共同センター代表） 会場：神商連会館 4 階ホール（JR 東神奈川駅徒歩 5 分） 参加費 500 円 主催：神奈川県憲法共同センター、国民救援会神奈川県本部 問合せ：神奈川労連（045-212-5855）

☆5月9日（土）14:00～16:30 **佐古忠彦さん講演会：映画「米軍が最も恐れた男カメジロー」、「太陽の運命」から沖縄を考える** 講師：佐古忠彦さん（映画監督、元 TBS アナウンサー） チケット代 999 円（学生・高校生以下無料、先着 310 名） 会場：杉田劇場ホール（JR 新杉田駅徒歩 3 分） 主催：根岸線沿線九条の会連絡会 申込み・問合せ：後藤（090-7175-1911、goto(at)kd5.so-net.ne.jp）

☆5月17日（日）13:30～16:30 **第16回鶴見平和フェスティバル：平和を創る集い in 鶴見「広げよう今こそ平和憲法の輝きを！求め続けよう世界に平和を」** 会場：鶴見公会堂ホール（JR 鶴見駅西口直結、西友鶴見店 6 階） 講演：安田菜津紀さん（フォトジャーナリスト）「紛争地、被災地に生きる人々の声～取材から見えてきたこと」 チケット代 999 円（高校生以下無料） 和太鼓演奏（笑鼓楽）、ジャズ演奏（平野康之）など 呼びかけ人：後藤仁敏（鶴見大学名誉教授）、前川雄司（弁護士）、宮澤由美（汐田総合病院院長）、野末浩之（横浜勤労者福祉協会理事長） 主催：実行委員会 問合せ：よこはま健康友の会事務局（045-947-3260）

☆5月30日（土）10:00～17:00 **日本科学者会議第 57 回定期大会** zoom によるオンライン開催 問合せ：mail(at)jsa.gr.jp

☆6月14日（日）10:00～17:00 **日本科学者会議第 57 回定期大会（続）** zoom によるオンライン開催 問合せ：mail(at)jsa.gr.jp

☆6月28日（日）14:00～16:00 **第102回草の根歯科勉強会 痛みの声をどう伝えるのか～トラウマジャーナリズムを活かす** 講師：佐藤直子氏（東京新聞論説委員） 参加費無料（コーヒー代 500 円（希望者のみ） 会場：梨の木カフェ（水道橋駅東口徒歩 3 分） zoom 併用 要申込（会場は 10 名まで） 主催：草の根歯科研究会 申込み・問合せ：岡田弥生（yayoiokada(at)pcsu.mfnet.ne.jp）

JSA 神奈川支部幹事会・発送作業：3 月の支部幹事会はお休みです。4 月の幹事会と発送作業は以下のとおりです。

日時：2026 年 4 月 19 日（日）14 時 30 分～16 時、発送作業は 14 時 30 分、幹事会は 15 時から。幹事会では 5 月 23 日（土）の午後（会場未定）、開催予定の支部大会への議案書の検討をする予定です。

会場：かながわ総研事務所（横浜市中区不老町 1-6-9 第 1HB ビル 5 階、1 階に「牡丹飯店」という中華料理屋のあるビルの 5 階、JR 関内駅西口徒歩 3 分）。

連絡先：飯岡ひろし（携帯：080-1987-0994、E-mail：jsa.kanagawa(at)gmail.com）

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、「日本の科学者」についての意見・感想、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月 10 日ごろの締め切り、15 日ごろの発送です。

送り先：後藤仁敏（E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax：045-894-1052）